

ICT活用（家庭学習編）

ICT活用が進み、家庭学習での活用が求められています。ICT端末を使って家庭で学習することは、家庭学習の質を高めるだけでなく、自ら学ぶ力を育てるためにも大切です。

今回は多久市での実践事例を紹介します。

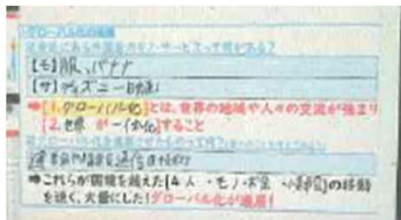
●実践事例①【Teamsを使って、One noteを共有】

東原彦倉中央校後期課程の社会科では、TeamsでOne noteを使って、生徒へワークシートを配布します。

生徒はワークシートを使って家庭学習を行います。教師は授業前に生徒のワークシートを教師用端末で把握できます。授業では、生徒のワークシートを電子黒板に投影しながら授業を進めることができます。複数投影すると多様な考えを比較・検討した学びができ、考えを深めることもできます。

Teamsでは、「教師しか見ることができないページ」「生徒全員見ることができるページ」など細かな設定が可能です。

授業後は書き込んだ画面や板書などを画像で共有しておくことで、復習に生かすことができます。



①生徒のワークシートの投影 ②複数投影する様子

●実践事例②【ドリル学習の実施】

東原彦倉西溪校では、児童生徒が端末を持ち帰り、教師が配信したドリルを家庭で行っています。

子ども達は即時に正誤答が分かり、やり直しもできます。教師も取り組み状況が瞬時に把握でき、理解度も把握できるため、授業の準備や個別支援等に生かすことができます。採点時間の短縮にもつながっています。

●実践事例③【音読練習機能の活用】

東原彦倉西溪校では、家庭学習の音読にMicrosoft Teamsのリーディングプログレスという機能を活用しています。児童生徒はTeams上で課題として出された文章を読み上げます。すると自動的に分析を行い、誤読や誤発音部分を可視化。精読率が表示されます。教師は児童生徒の音読の確認をしつつ、評価やコメントを返せます。児童生徒も自分の苦手な部分が視覚的に確認でき、自分のペースで練習ができます。

「高校入試に向けて知っておきたいこと」

東部教育事務所では高校入試に向けた進路説明会も開催しています。対象は生徒向け、保護者向けなどに対応いたします。

6月24日に牛津中学校で説明会を行いました。3年生の生徒95名と保護者、先生方が参加しました。生徒の皆さんの進路選択の一助となれば幸いです。11月ごろまでは日程の都合がつけば指導主事を派遣いたしますので、ご相談ください。



働き方改革事例

今年度、東部教育事務所管内での働き方改革の事例をいくつか紹介します。9月から指導主事があいさつ運動で学校を回りますので、学校で取り組まれている好事例がありましたら情報提供をお願いします。

- 年度初めに通学路の立しよう当番に教職員は立たないようにした。毎日地域ボランティアの方が立ってくださっており、教職員は学校内で子供たちを迎える体制で共通理解をした。
- グループウェア(teams等)を使って職員間で情報共有や会議資料の配布を行ってる。印刷作業が不要となり、ペーパーレス化の推進にもつながっている。職員もシステムに慣れ、授業での活用場面が増えた。
- 年度初めや学期末に4校時下校とする。午後からの時間を会議や学級事務等の時間に使えた。
- 昼休み時間を勤務時間とし、子供たちが下校後に職員の昼休みを45分間設定している。
- 金曜日に定時退勤を設定している。退勤時間の20分前にはパソコンを閉じ、「ホッとタイム」として教員同士で懇談する時間を設けた。

【お知らせ】

東部教育事務所の移転日が10月14日（火）になる予定です。移転作業のため、その前後で支援依頼等をご遠慮させていただく場合があります。ご了承ください。